

◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料440円

1、字句〓以其有像也

2、形式〓半紙タテ使用。右に「以其有」、左に「像也」と臨書し、左余白に「〇臨」と調和を工夫して書き入れる。

3、概観〓「集字聖教序」は、行書であり、集字碑ゆえ文字間の連綿線はありませんが、文字内における連綿線が巧みに行われているのが感じられます。実線と連綿線が

- ①直線的な動きにより、鋭さを強調したものの。
- ②曲線化に徹して穏やかな味わいを見せるもの。
- ③曲・直の組み合わせによって変化を見せるもの。

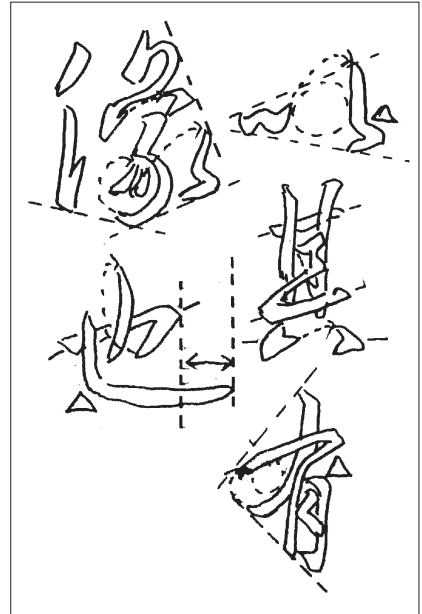
4、各字のポイント
以 偏の二点の間をつめて、懐を思いきって広くとっている。旁は△で押さえずに筆の右側の面を遣って運筆。

其 二・三画目はわずかに下すばかりにし、四・五画はやや上部に位置し、六画目の横画は一画目と平行。七・八画目の点は横に大きく振る。

有 一画目と二画目の間にできる空間を大きくとる。「月」の転折△は押さえずに筆を立て、細い線となっている。

像 「イ偏」は極力幅を狭くし、旁は上部と下部を密にし、中部を疎にする。

也 一画目右肩を上げ、二画目は軽く入筆し、押してゆき収筆で引き上げる。三画目の△で一旦止まり横へ伸びやかに。一画目より大きく横に出す。



集字聖教序・王羲之

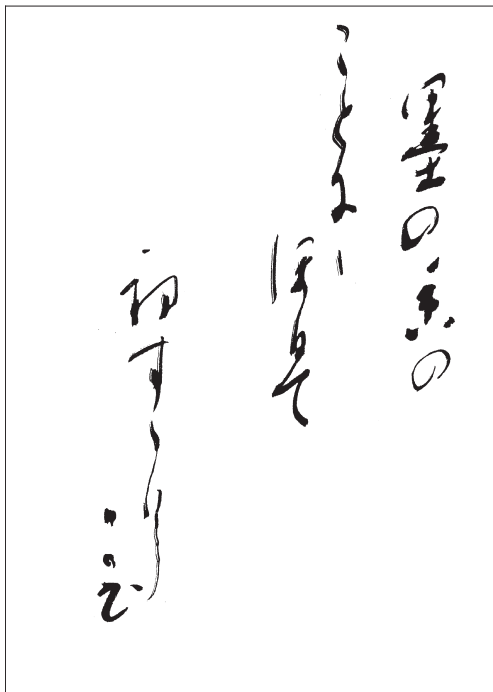
半紙課題(予告) (一月二十二日締切)

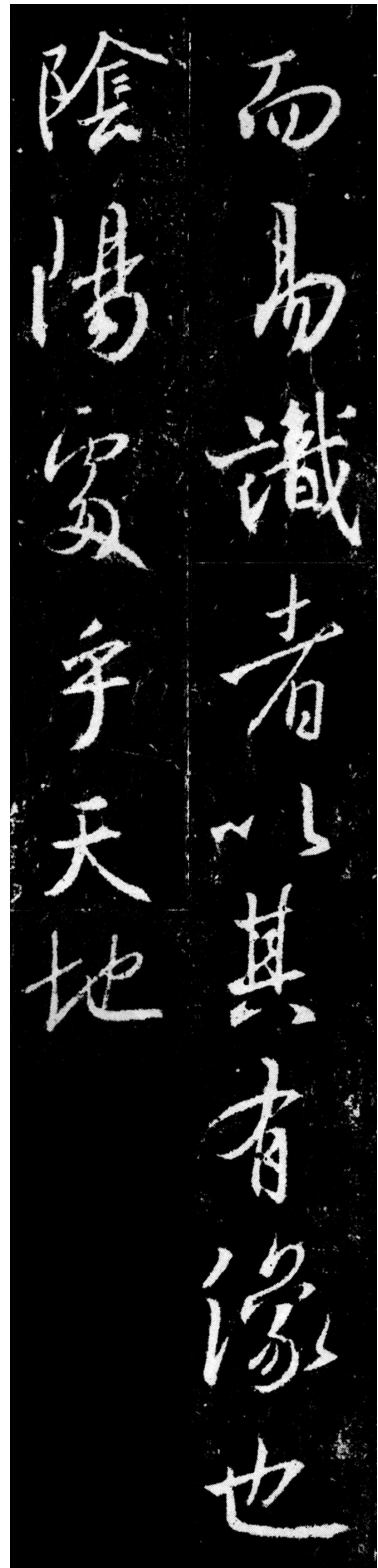


平岡華雪先生書 光風白玉の梅(苑成大)

訳：白玉のような梅花に雨あがりの風がそよぶ。

平岡華雪先生書 墨の香の殊にはひて初すずり(喜久榮)





而易識者 以其有像也 陰陽處乎天地
而も識り易き者は、其の像^{かたち}有るを以てなり。陰陽の天地^ちに処りて、

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご利用下さい。抜粹可。
随意部半紙は無料。随意部条幅は一枚目無料、二枚目から五五〇円。

一字書（十二月十八日締切）

課題

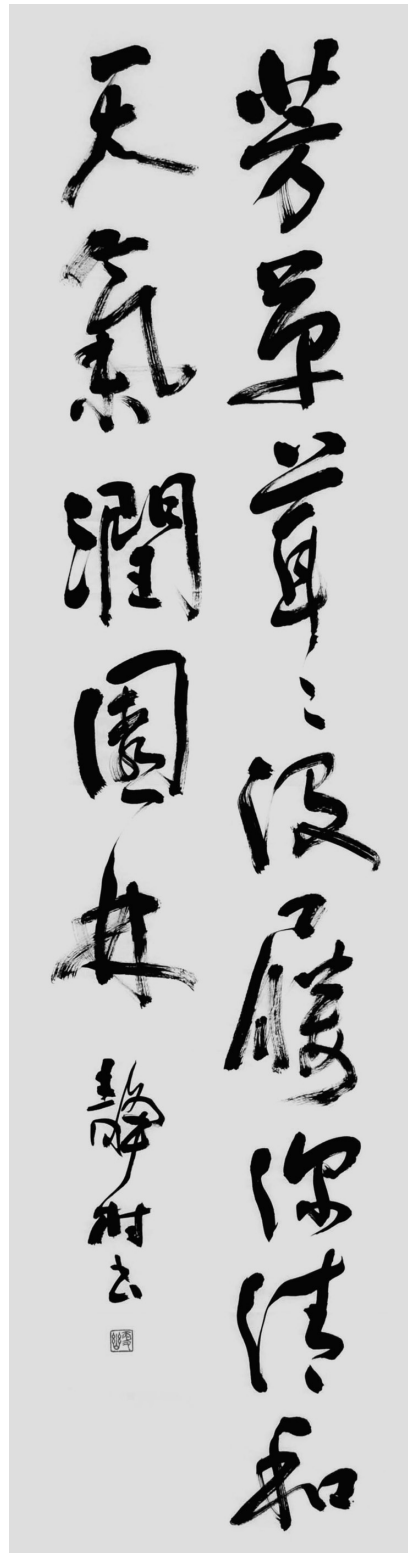
鐘

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四四〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に
一字と記入 段級は無記入

A

鈴木静村先生書

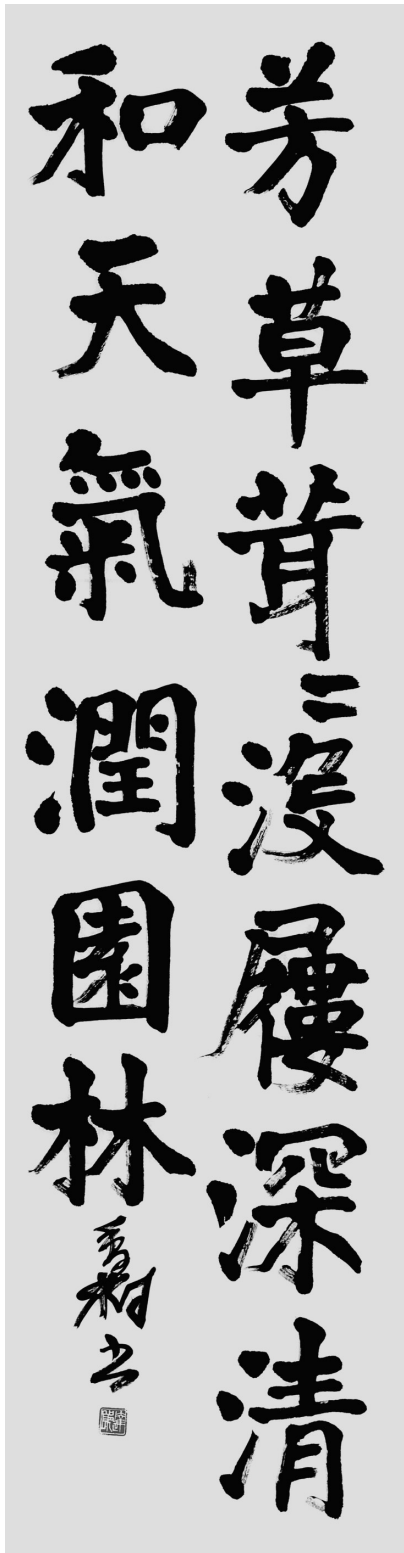
芳草茸茸没履深 清和天氣潤園林 (方回)
芳草茸々として履を没すること深く、清和の天氣園林を潤す。



B

高橋香樹会长書

草、横画で字幅を。茸々、頭大に「々」まで意連して。履、内部の表出多々、字典参照のこと。深清和、墨継ぎ。拙い同筆調、線に一工夫を。天氣一般に渴筆部分、カスレの線にも墨の表出を。潤園林、墨継ぎ。園、「袁」の崩し明確に。



今回は久し振りに楷書作としました。課題は、「草冠」が三点、「三水偏」が四点というあまりないものでした。「草冠」は始めから三字続くので、三種の「草冠」で書き、四字ある「三水偏」も点の方向の変化や長さの違いにより(大きな違いはないのですが)書いてみました。

訳：芳草はびっしりと履が沈むほど深く、すがすがしくおだやかな天氣は庭に潤いをあたえる。

予告 (二月二十二日締切)

晚徑黃花開有色

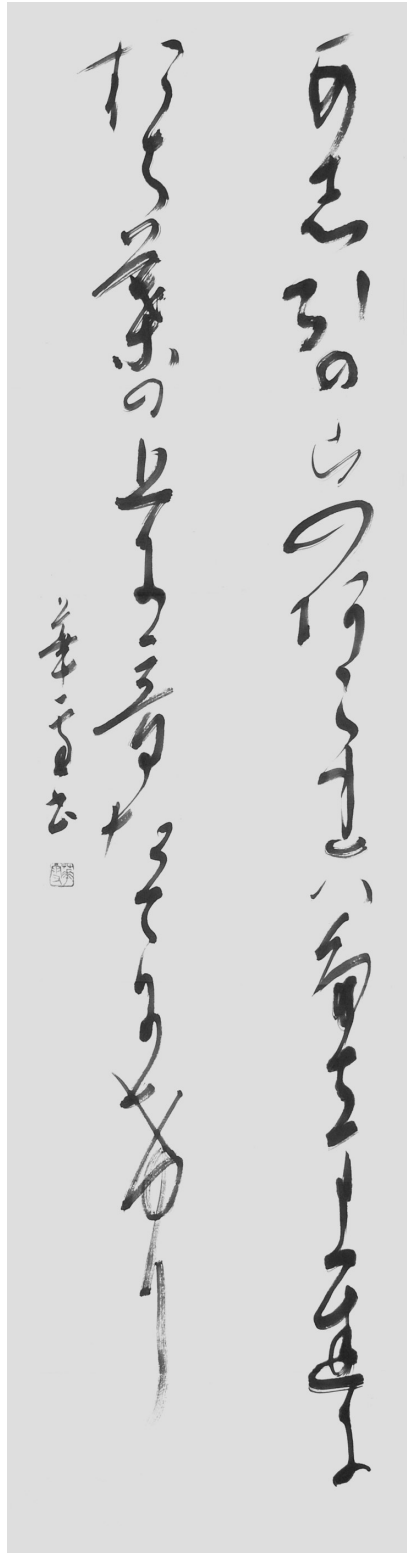
曉程殘月落無聲 (查爲仁)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

A

平岡華雪先生書

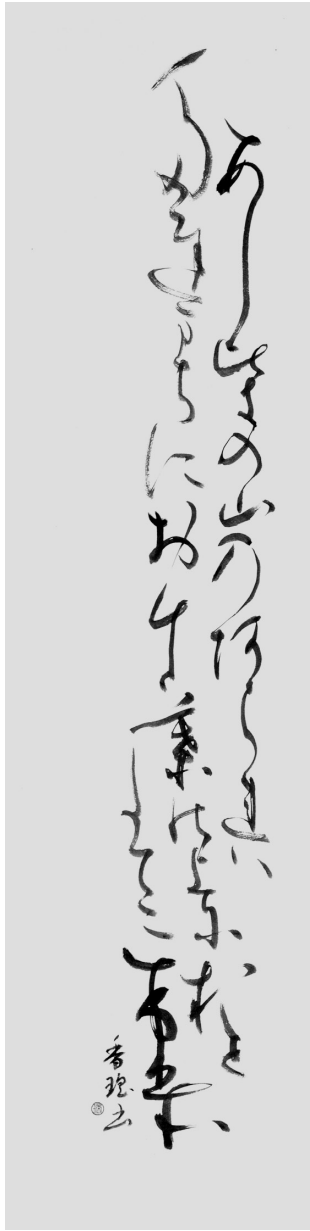
あしびきの山の霰はたちまちに落葉のうへに音たてにけり (斎藤茂吉)
あし引の山の阿ら連八多ち万遅尔於ち葉の上尔音たて尔希り



B

内藤香瑶先生書

あし比支の山乃阿ら連八多遅万ちにお千葉能上尔於と多て二希梨



学び方

半切右寄りに約1/2近く使用し、左側に大きく余白を作りました。二行書きのように見えますが、風に吹かれて溜った「あられ」を表わそうと、一行目の下部に二行目が流れて、大きな揺らぎを作ってみました。
「あしびきの」…山・峯にかかる枕詞。「あしびき」ともいう。

予告 (一月二十二日締切)

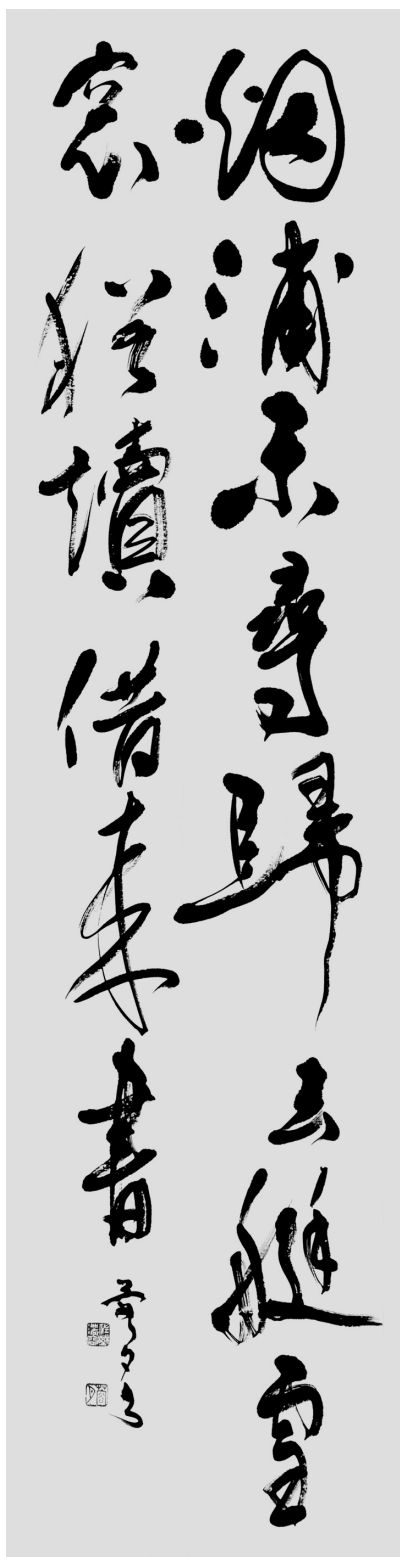
常盤なる松のみどりも春くれば今ひとしほの色まさりけり (古今和歌集)

齋藤茂吉 山形県金瓶村 (現在の上市市金瓶) 出身。一八八二年 (明治十五年) ~ 一九五三年 (昭和二十八年)。
近代短歌を確立した歌人、随筆家、精神科医。伊藤左千夫の門下。島木赤彦らと共にアララギ派の中心人物。代表作歌集「赤光」は万葉語を自由に駆使した強い生命感への欲求を歌った歌風で注目された。
長男 齋藤茂太は精神科医、随筆家。
次男 北杜夫は精神科医、随筆家、小説家。

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

佐野 蓉夕 先生 書

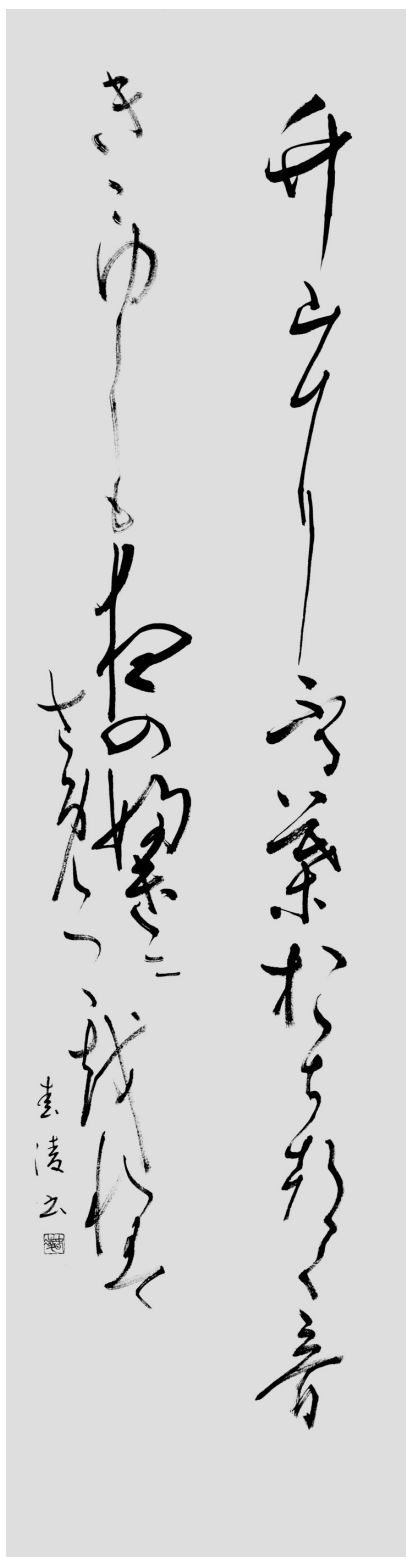
烟浦未尋歸去艇 雪窓猶讀借來書（許斐）
 烟浦未だ尋ねず歸去の艇、雪窓猶読む借來の書。



訳：もやの入江にはまだ帰り去る小船をば如何にと問わぬ、しきりに雪のてらす窓下で借り来し書を読んでいる。

武井 春凌 先生 書

竹山に古葉おちつくおと聞ゆ霜夜のふけに覚めつゝ居れば（釈迢空）
 竹山にふる葉おちつくおと聞ゆ霜夜のふけに覚めつゝ居れば（釈迢空）
 竹山にふる葉於ち都久音きこゆしも夜の婦遣二さ免つゝ越れ盤

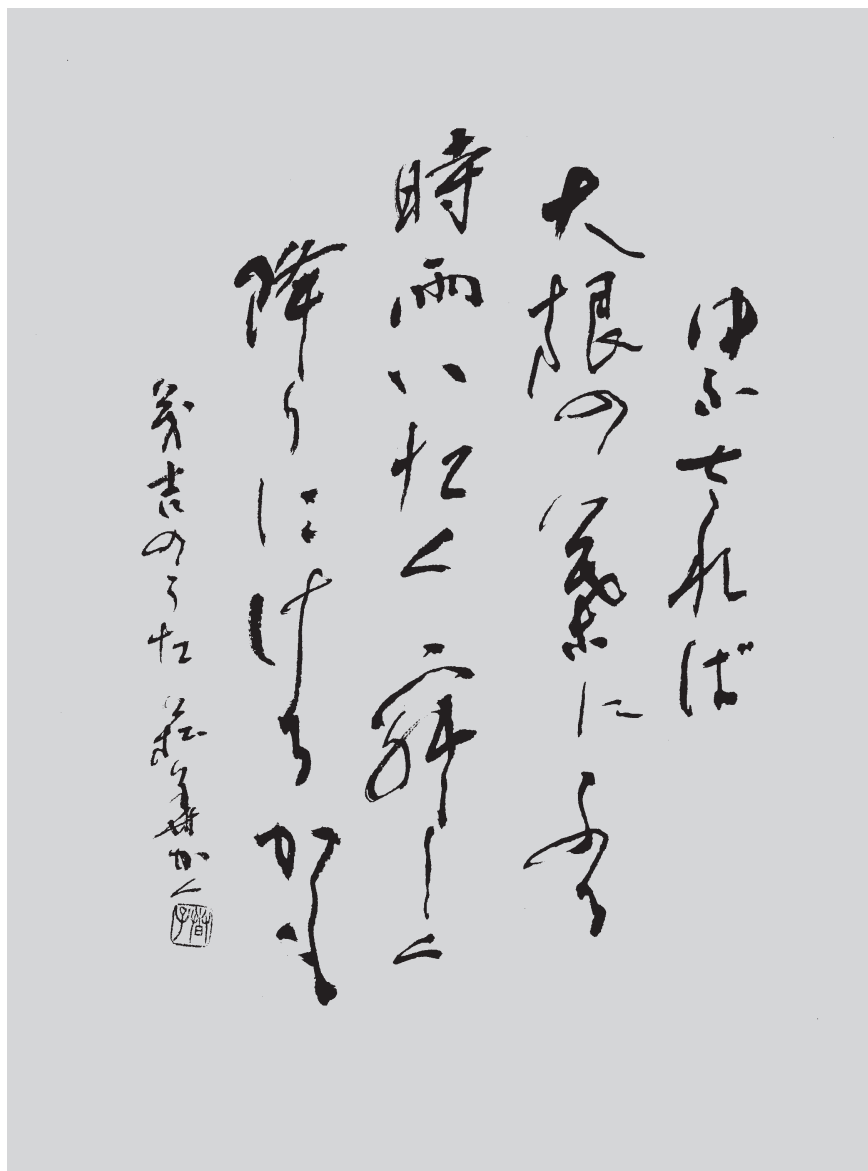


- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料550円）

小暮 菘華 先生 書

ゆふされば大根の葉にふる時雨
いたく寂しく降りにけるかも

齋藤茂吉

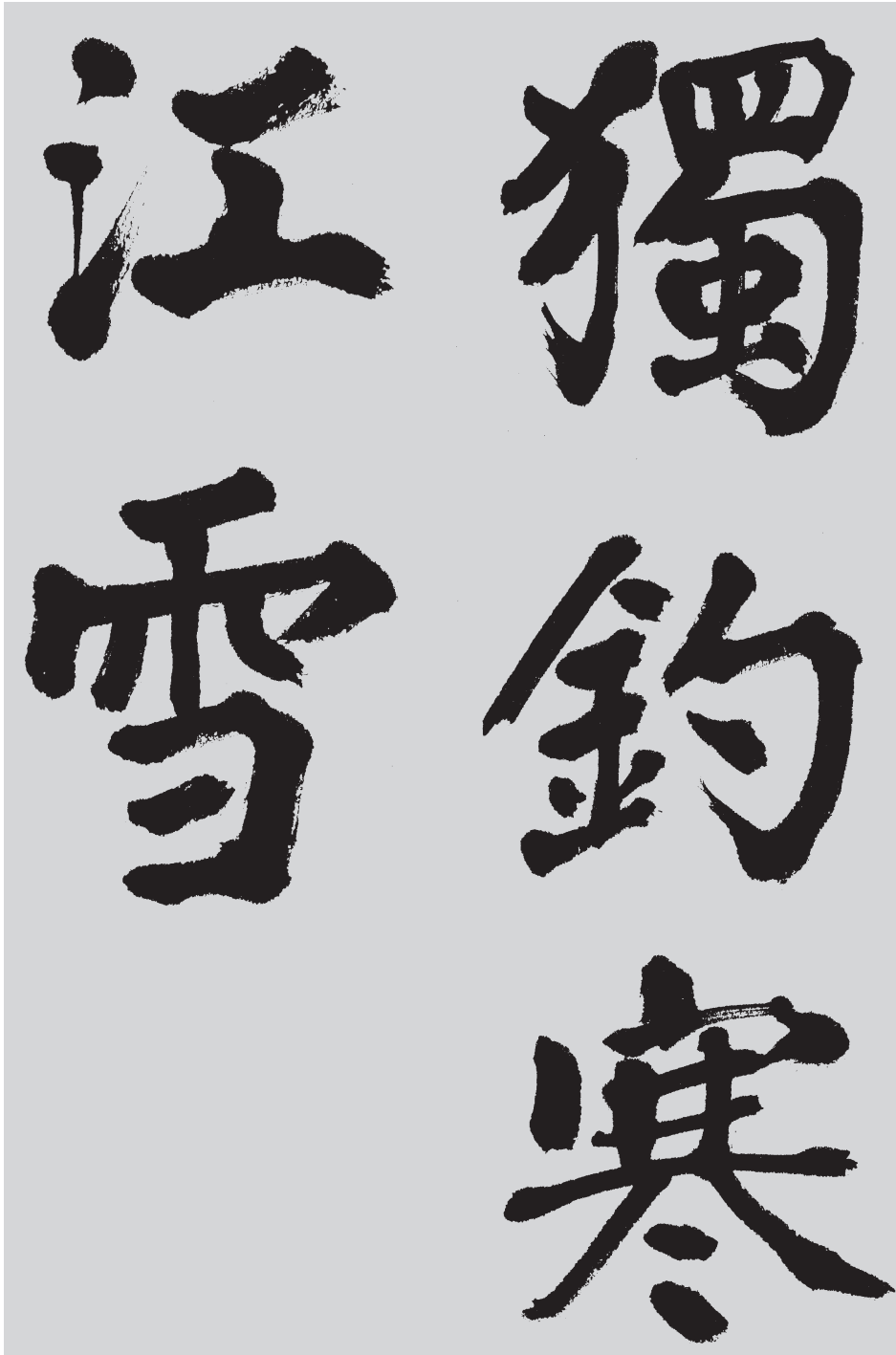


「あらたま」の中の有名な歌です。全体を自然な楕円形を作るように収めてみました。
書き出しは墨を含ませやや小さい字で、二行目と三行目に余白を、「大根」「葉」「寂」など漢字を大きく、五句目と落款を内側に傾けてみました。

齋藤茂吉（一八八二～一九五三）山形生まれ 歌人。東大医学部卒。正岡子規、伊藤左千夫に師事。「アララギ」中心的同人。歌集「赤光」「あらたま」で文壇を矚目させる。他に歌集「ともしび」「白き山」など。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料550円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

獨り釣る寒江の雪（柳宗元）

訳：雪の寒江に独り舟を浮かべて釣をする。

（ポイントに気合い）

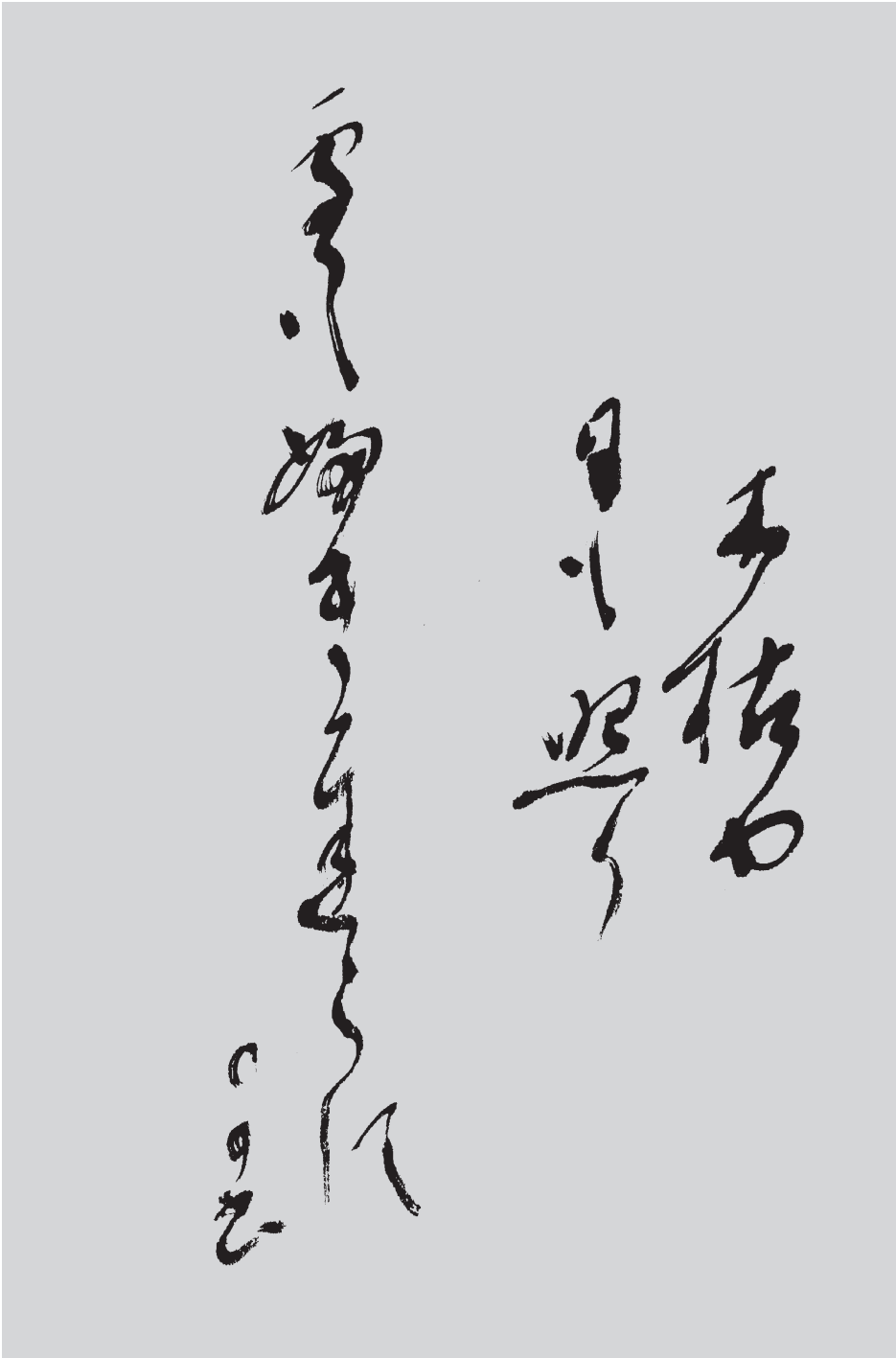
特に「獨」の「獸偏」の用筆と「獨と釣」の二字にある転折（フ）。獸偏は書き出しの画でありリズムが大切。これで失敗するとこの字全体に影響。二つの「フ」は、骨力を加え、ハネもスッキリと――。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

木枯こがらしや日も照り雪も吹ふちらすちらす (樗良)
 木枯や日も照り雪も婦ふき遅ちら須す



〈一筆小感〉

右群「木枯や」の長い連綿線、この線が弛むと失敗、「活き」の表出ですっきりさせた。二行目「日・も」と放ち書き「照」が群のポイント、字幅をとりたい。左群「婦」で墨継ぎ、下五は五字連綿、初歩段階ではむずかしい——。特に、変体がな「婦・遅・須」まずは単体をしっかりと習熟して。

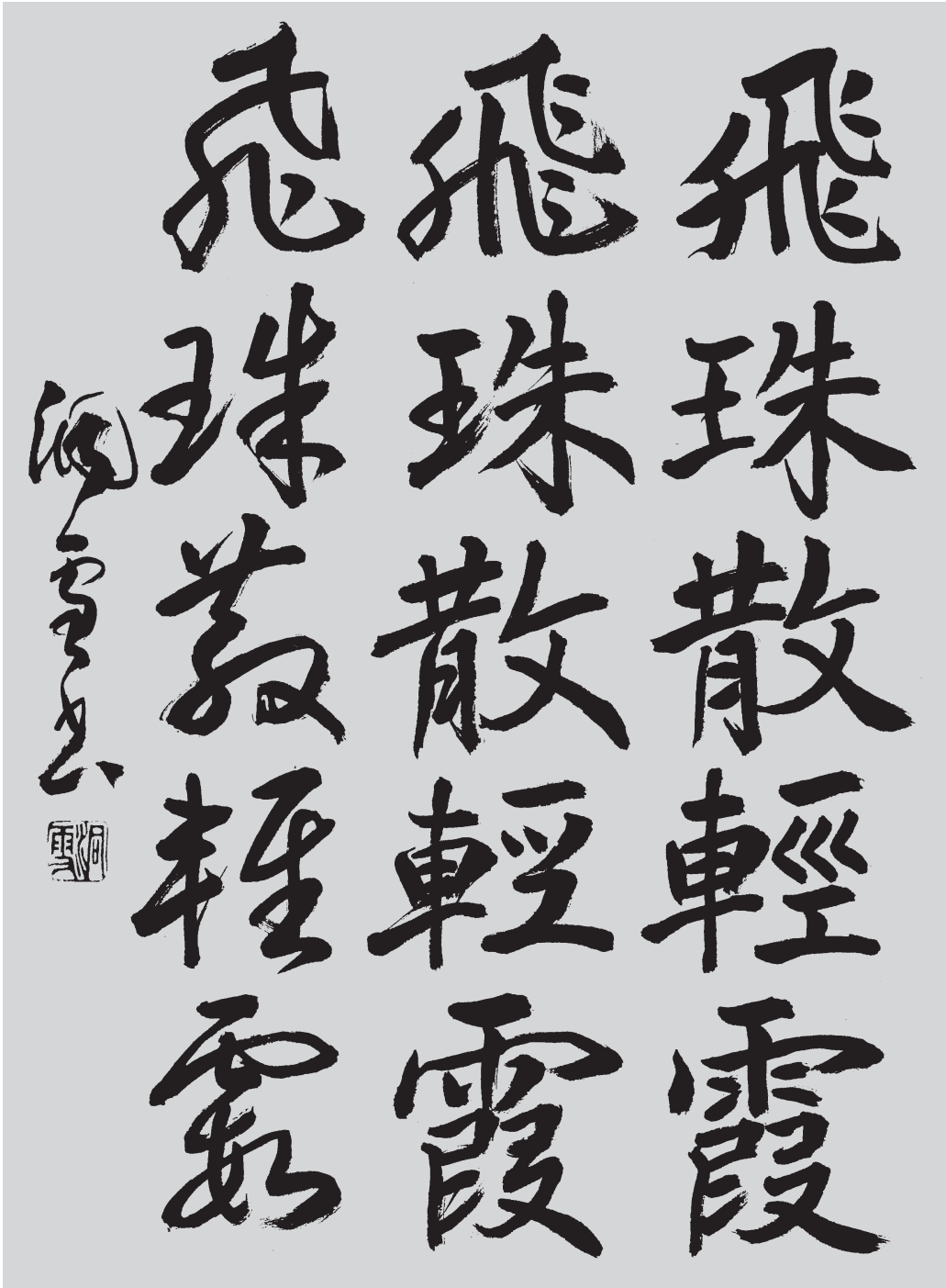
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

- ①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

楷、行、草、三 体 参 考

加藤 洞雪 先生 書

飛珠散輕霞 (李白)
飛珠^{ひしゅう} 輕霞^{けいか}を散^{さん}じ



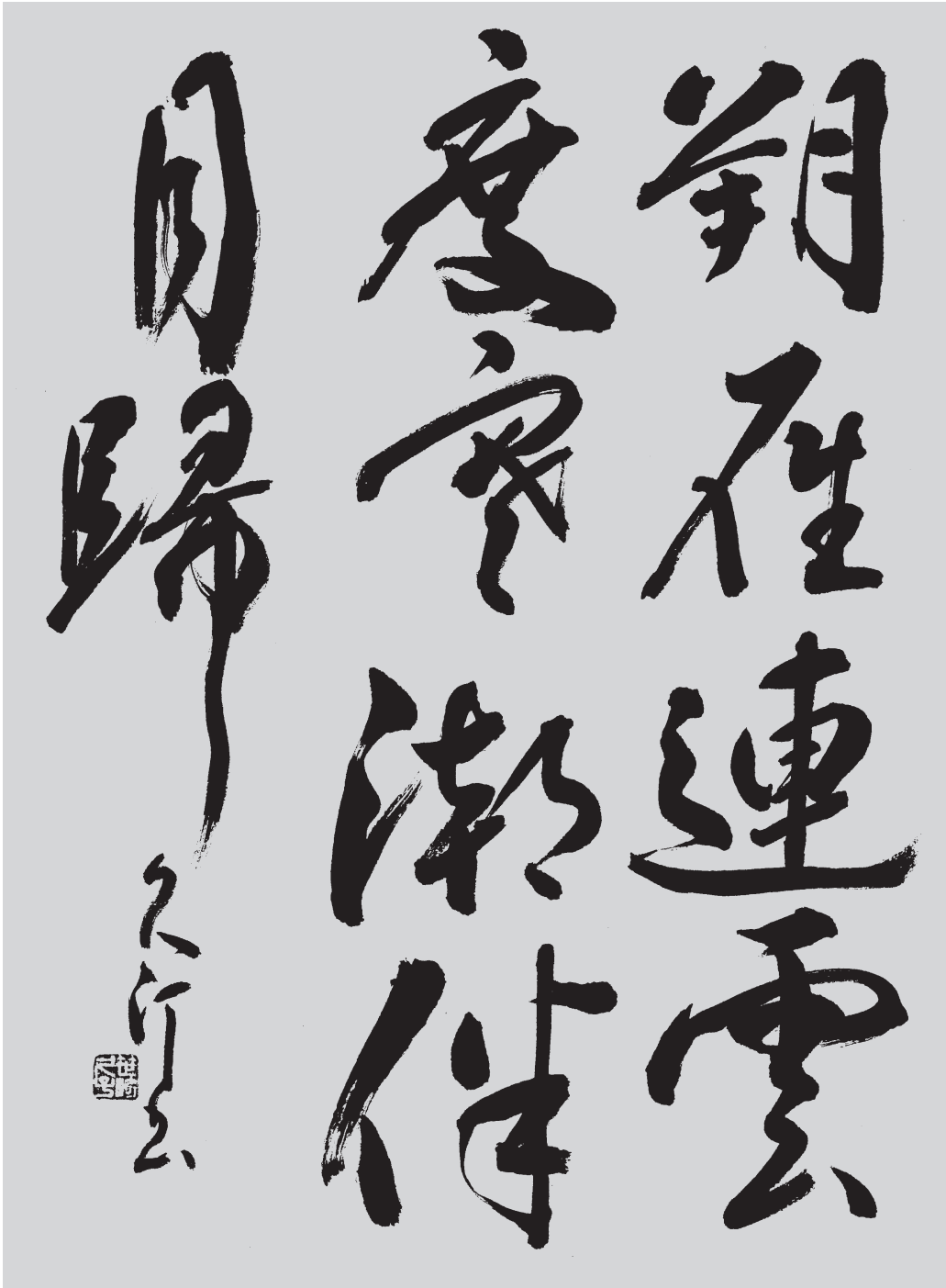
訳：飛び散る水しぶきは、広がって軽いモヤとなり、

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円。

随 意 部 参 考

笹崎久汀先生書

朔雁連雲度 寒潮伴月歸（祝允明）
朔雁雲に連つて渡り、寒潮月に伴うて帰る。



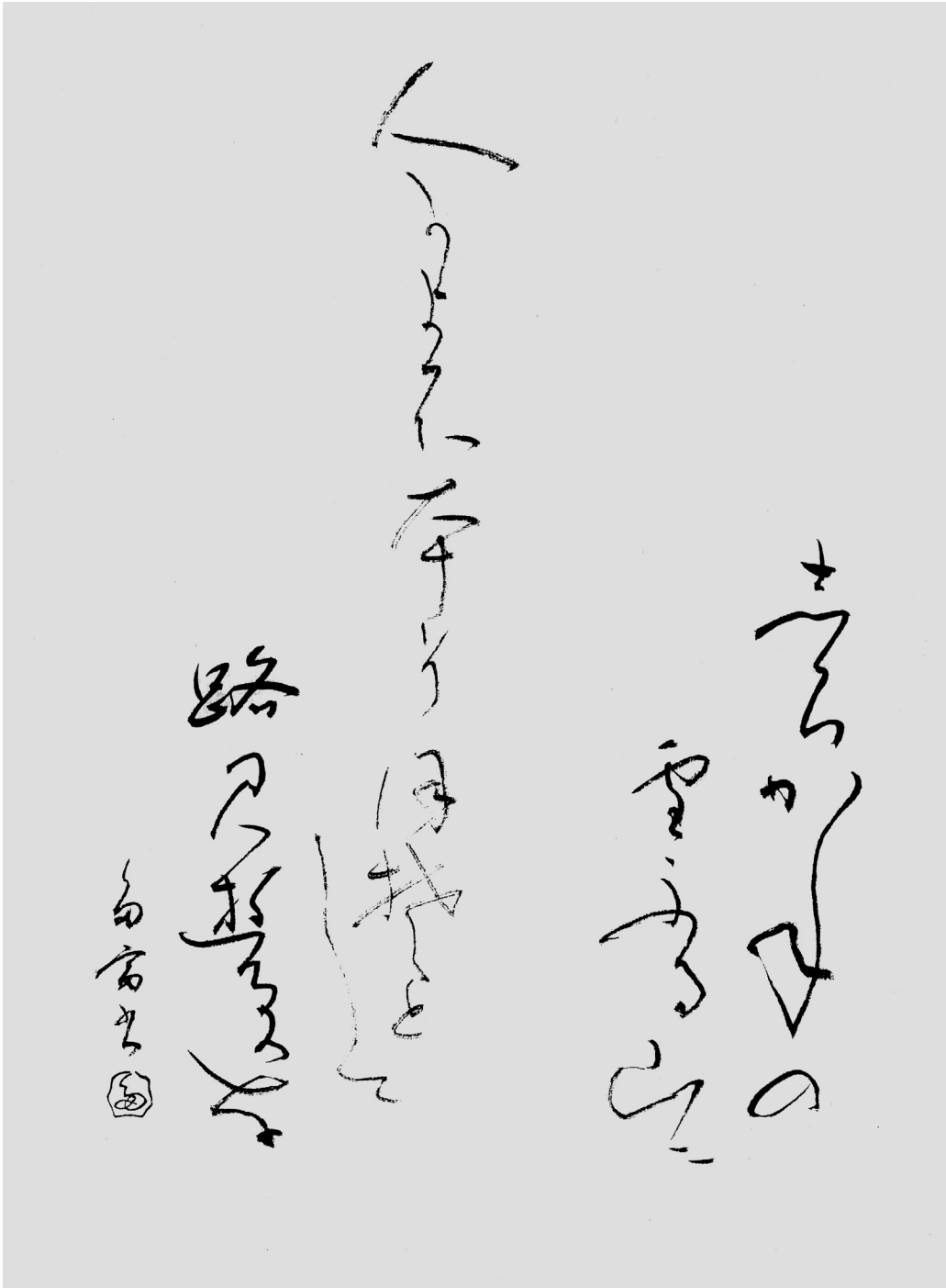
訳：北方へゆく雁は雲に影つらねて飛び、冬の潮水は月の影をひたしてさしくる。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

随 意 部 参 考

森 多 富 先 生 書

しるがねの雪ふる山に人かよふ細ぼそとして路見ゆるかな（斎藤茂吉）
志ろか年の雪ふる山二人可よ不本曾保楚として路見遊る可奈



1. 随意部参考として出品してください。 2. 会員外の出品料は460円

赤木典子先生書

川上香蓉先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

人と荷が、表通りまではみ出ていた。
 年の瀬が、日頃閑散なこの店にまで
 押し詰めはじめた。

眼下には朽ち葉色のうら寂しい景
 色が広がっていたのである。
 季節の変わりを一夜にして見たよ
 うな心地だった。
 季節の変わりを一板にして見た
 ような心地だった。

課題1 (初段階以上)

眼下には朽ち葉色のうら寂しい景色が広がっていたのである。
 季節の変わりを一夜にして見たような心地だった。
 「坂ものがたり」 藤原緋沙子

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題2 (初段階以下)

人と荷が、表通りまではみ出ていた。
 年の瀬が、日頃閑散なこの店にまで押し詰めはじめた。

「丹波屋の嬢さん」 司馬遼太郎

研究部課題

(十二月十八日締切)

(課題)

鳴雁枯蘆天欲霜 烏江暮色正茫茫

沛公孫子今予在 鼓棹中流弔項王

(作者) 副島蒼海

(読)

(次韻項羽を弔う) 鳴雁・枯蘆・天霜ならんと欲す 烏江の暮色正に茫茫 沛公の

孫子今われ在り 棹を中流に鼓して項王を弔う

○烏江―安徽省にあった揚子江沿岸の渡し場。漢の高祖つまり沛公に追われた項羽はこの渡し場の亭長が、早く渡れ、この舟しかないのだから漢が追って来ても渡れないとすすめたのに、天が自分を滅すのだと聞いて肯んぜず、ついに戦死したところ。沛公孫子―副島氏は漢の高祖の後裔だといふ。蒼海伯自身しばしば劉氏の出身であることを記している。

▽注意

(1) 半切タテ使用

(2) 行草体

(3) 行数、字詰め自由

(4) 落款は「白雲外史書」と書き入れること。

雅印無用。(本名又は雅号作品は不可)

▽出品要項

(1) 資格―推薦・準推薦・推薦格合格者(漢字・

随意・かなのいずれかで推薦格以上。同人、

準同人も歓迎)

秋季定期昇級試験で初めて準推薦・推薦格に

合格した方も歓迎

(2) 締切―十二月十八日必着

(3) 成績発表―書延二月号誌上

(4) 出品料―九四〇円

(5) 出品方法

ア、出品は一人一点とする。

イ、左の出品票(私製)を作品の左下にぶら下げて貼付する。

のりしろ	
研究部	
12月18日締切	
(支部名)	フリガナ
(姓名(号))	()
5センチ	

10センチ